

平成17年度 高冷地水稲生育速報(第2報)

中山間農業技術研究所

1. 生育概況(6月14日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	23.0 (90%)	291 (95%)	5.1 (+0.1)	39.1 (+0.6)	6.5 (+0.3)
	前年	28.9	231	4.9	38.9	6.0
	平年	25.5	307	5.0	38.5	6.2
コシヒカリ	本年	27.2 (100%)	191 (61%)	4.8 (-0.1)	37.4 (+1.2)	6.3 (-0.1)
	前年	29.0	293	4.8	35.9	6.0
	平年	27.3	313	4.9	36.2	6.4
たかやまもち	本年	25.5 (90%)	164 (51%)	4.8 (-0.1)	35.3 (-1.7)	6.0 (-0.6)
	前年	29.2	238	4.8	35.5	6.1
	平年	28.2	323	4.9	37.0	6.6
ひだほまれ	本年	27.9 (99%)	266 (99%)	4.7 (+0.1)	38.5 (+3.5)	6.5 (+0.0)
	前年	29.5	184	4.3	33.3	5.6
	平年	28.1	268	4.6	35.0	6.5

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

気温が高くなり生育の遅れは回復しつつあるが、全体に草丈はやや短く茎数が少ない。特に「コシヒカリ」「たかやまもち」は分けつが進んでおらず、葉齢も遅れている。

いずれの品種も葉色は濃くなってきているので、あせらず様子を見ていきたい。

2) 病虫害等の発生状況

イネミズゾウムシは被害の拡大が止まり、落ち着きつつある。しかし、イネツトムシとイネハモグリバエが発生し、食害が見られるようになった。

雑草はノビエ、ホタルイ等が発生し続けており、このまま“ダラダラ発生”となりそうである。

3) 今後の管理

梅雨に入ったが、早期中干しが終わっていない場合は必ず実施したい。

依然として生育がみすばらしいので、追肥をしたくなるが当面見合わせは方が良い(特に「コシヒカリ」「ひとめぼれ」は追肥を行わない)。

雑草が“ダラダラ発生”となっているので、発生の多いところでは後期除草剤を利用し、取りこぼした雑草の防除に努める。後期除草剤は正しい使用方法で施用しないと薬害が発生したり、効果が劣ったりするので、注意する。

< 参考 > 前回調査時(6月7日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	19.0 (86%)	118 (104%)	4.2 (-0.6)	31.3 (-4.7)	5.1
	前年	22.0	114	4.8	36.0	-
	平年	-	-	-	-	-
コシヒカリ	本年	21.0 (88%)	102 (62%)	4.1 (-0.5)	31.2 (-4.4)	5.0
	前年	23.8	164	4.6	35.6	-
	平年	-	-	-	-	-
たかやまもち	本年	19.3 (78%)	91 (66%)	4.0 (-0.6)	27.6 (-6.7)	4.7
	前年	24.7	137.0	4.6	34.3	-
	平年	-	-	-	-	-
ひだほまれ	本年	21.7	95	4.0	32.2	5.1
	前年	-	-	-	-	-
	平年	-	-	-	-	-

()内の数値は対前年値

中山間農業技術研究所
TEL 0577-73-2029
FAX 0577-73-2751